2022年度　京都バイオ計測センターシンポジウム

「食と農」研究の新しい展開

～京から発信する第６次産業の喚起へ～

世界の人口増加は止まらず、世界は、食料不足に陥りかけています。さらに、地球温暖化やウクライナを巡る情勢など、食糧危機は深刻さを増し、生命活動に差し迫った脅威を与え始めています。

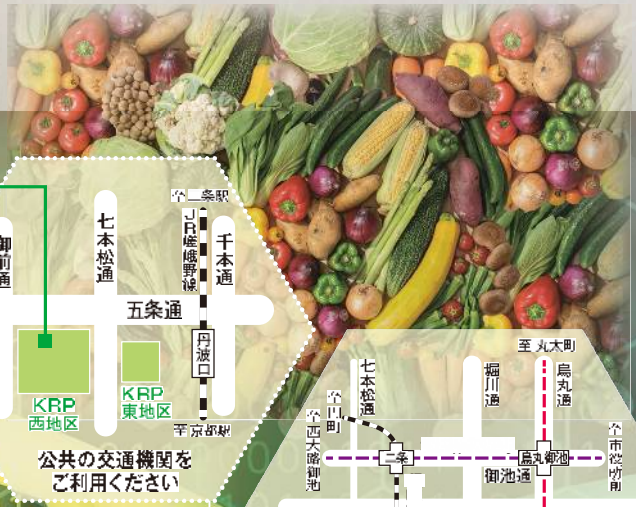
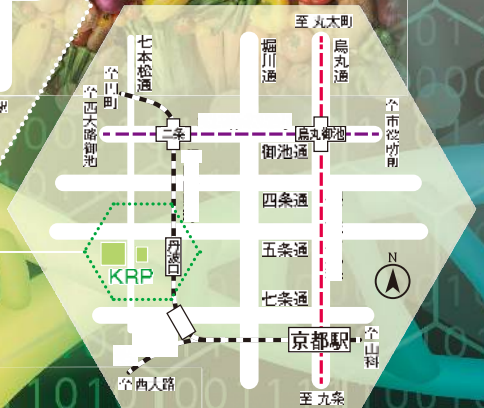
「食と農の研究」には、このコロナ禍を乗り越え、満を持して立ち上がりつつある研究開発があります。

本シンポジウムでは、これまでの「食と農の研究」を踏まえながら、新しい視点をもち食料問題にチャレンジする第６次産業の創生をめざして研究されておられます講師の方々にご講演をいただきます。

10月7日（金）
13:00～18:00
- 開場 12:00 -

講師敬称略

13:00～13:05／開会挨拶
13:05～13:45／「伝統的醸造産業における計測の高度化と近畿公設試の挑戦」
● 山本佳宏（地方独立行政法人京都市産業技術研究所研究室長）
13:45～14:25／「微生物機能を先端技術で測定し利活用するチャレンジ」
● 竹山春子（早稲田大学理工学術院 先進理工学部教授）
14:25～15:05／「データ駆動型サイエンスによる持続可能な次世代食サイクル」
● 青木　航（京都大学農学研究科 応用生命科学専攻助教）
15:05～15:10／――休憩――
15:10～15:50／「プロバイオポニックス技術とスマートフードチェーンの構築」
● 井手上尚弘（旭化成株式会社マーケティング&イノベーション本部食農プロジェクトマネージャー）
15:50～16:30／「農業分野における Cyber Physical System の活用～データ駆動型の土壌メンテナンスに向けて～」
● 中川潤一（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農業ロボティクス研究センター長）
16:30～16:35／――休憩――
16:35～17:15／「腸内微生物と食の近未来」
● 後藤義幸（千葉大学真菌医学研究センター准教授）
17:15～17:55／「ブルーカーボンのためのブルーリソースによるブルーバイオテクノロジーの展開」
● 植田充美（京都大学産官学連携本部特任教授）
17:55～18:00／閉会挨拶



会場：京都市産業技術研究所大ホール
京都リサーチパーク9号館南棟2階
京都市下京区中堂寺粟田町 91　電話 075-326-6100
ＪＲ嵯峨野線　丹波口駅より　徒歩５分